

平成30年度第2回香川県教育センター運営協議会
議 事 次 第

日 時：平成31年 3月19日（火）

13：30～15：00

場 所：教育センター4階第5研修室

1 開 会

2 所長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

（1）平成30年度事業実施状況について

（2）平成31年度事業計画について

（3）その他

5 閉 会

香川県教育センター運営協議会委員名簿

現委員の在任期間：平成30年6月8日～平成31年4月30日
(五十音順)

氏 名	役 職 名 等	備 考
阿 野 秋 子	三木町教育委員会教育委員	
有 賀 修	NHK高松放送局放送部長	
大 林 朋 美	香川県PTA連絡協議会副会長	
大 林 博 子	香川県小学校長会副会長 (まんのう町立長炭小学校長)	
小笠原 隆 夫	香川県中学校長会会長 (高松市立香東中学校長)	
梶 裕 美	香川県国公立幼稚園・こども園長会会長 (宇多津町立宇多津幼稚園長)	
北 林 雅 洋	香川大学教育学部教授 (香川大学教育学部附属高松小学校長)	会長
木 原 光 治	四国新聞社西讃支社長	
平 畑 博 人	香川県高等学校長協会会長 (香川県立高松南高等学校長)	副会長
八 木 成 幸	J R 四国研修センター所長	
山 本 主 税	香川県特別支援学校長会会長 (香川県立高松養護学校長)	

平成30年度 香川県教育センター事業実施状況について

H31.3.19

1 調査研究事業

様々な教育課題の解決に向け、先導的・実践的な調査研究に取り組んだ。研究発表会の開催や研究報告書等の学校、教育関係機関への配布、Web サイトでの公開等により、その成果を普及したほか、教育センターの研修において、その成果を活用した。

(1) 研究テーマ

①「アクティブ・ラーニングの視点から実現する学びの質の向上に関する調査研究」

(2年次)

②「情報教育に関する調査研究」

③「全国及び香川県の学習状況調査からうかがえる本県の課題と今後の取組」

(2) 研究発表会

○日 時：平成31年2月15日(金) 12:30～16:25

○会 場：香川県教育センター

○参加者：242名

2 教職員研修事業

【参考資料1 参照】

教職員の資質・能力の向上を図るため、経験年数に応じた研修（基本研修：14講座）や職責・職能に応じた研修（職務研修：28講座）、専門的な知識等を習得する研修（専門研修：38講座）のほか、小・中学校教員の長期研修（10名）、公開講演（14講演）等を実施した。

(1) 講 座 数：計 80講座 (平成29年度：83講座)

(2) 受講者のべ数：計9,316人 (平成29年度：10,671人)

(3) 満足度評価：平均3.8(4段階評価) (平成29年度：3.8)

(4) 公開講演聴講者：1,153人 (平成29年度：1,235人)

3 教育相談事業

【参考資料2 参照】

学校生活の悩みやいじめ、子育て、ネット上のトラブルなどについて、子どもや保護者、教職員等からの相談に応じた。

また、児童虐待や家庭に問題を抱えた児童生徒等、学校だけでは対応が困難な課題について、学校支援アドバイザーを派遣したほか、教職員等にセンター職員等が電話や来所で相談を受けるコンサルテーション事業を行った。

4 カリキュラムセンター事業

【参考資料3 参照】

各学校における教育活動を支援するため、次の事業を実施した。

○研修サポート事業

学校における研究や研修、教育実践上の諸問題等に関する相談など、直接出向いてサポートを行う。

○学校教育指導委員派遣事業（スクールアドバイザー）

学習指導力や保健指導力、校務分掌遂行力にすぐれた教職員を研修活動等における支援者として各学校（園）に派遣する。

○学校教育力向上支援事業（さめき学びの支援隊）

退職教職員が、学校の要請に応じて、校内研修の講師や放課後の補充指導等の支援を行う。

○研究相談

教育課程や学習指導、学級経営、生徒指導、校内研修などに関する学校からの相談に応じる。

○Web.サイトによる情報提供

学習指導案、実践事例、学習成果物などの教育資料を収集し、Web.サイト等で提供する。

○教育資料の貸出

教育図書、研究紀要、各種教科書などの教育資料を収集し、提供する。

○施設開放事業

研修室を教職員の自主的な研修・研究の場として貸し出す。

平成30年度 教職員研修の受講者数及び評価

H31.3.19

参考資料1

区分	研修名	幼小中	日数	受講者のべ数	評価	高特	日数	受講者のべ数	評価
基 本 研 修	101 初任者研修(小・中・高・特)	81	17	2,125	3.8	50	19	950	3.9
	111 教職1年経験者研修(小・中・高・特)	44							
	121 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ(小・中・高・特)	127	4	508	3.7	52	3	156	4.0
	131 中堅教諭等資質向上研修Ⅱ(小・中・高・特)	44	7	308	3.9	18	6	108	3.9
	141 教職20年経験者研修(小・中・高・特)	15	2	30	3.7	41	2	82	3.8
	102 初任者研修(幼・こ)	49	9	441	3.9				
	132 中堅教諭等資質向上研修(幼・こ)	35	6	210	3.9				
	103 新規採用養護教諭研修(小・中・高・特)	9	16	144	3.8	2	15	30	3.8
	122 中堅養護教諭資質向上研修Ⅰ(小・中・高・特)	5				5			
	133 中堅養護教諭資質向上研修Ⅱ(小・中・高・特)	3	4	12	3.9	1	4	4	4.0
	142 養護教諭20年経験者研修(小・中・高・特)	1	2	2	3.8	0	2	0	
	104 新規採用栄養教諭研修(小・中・高・特)	3	15	45	4.0	1	15	15	3.8
	123 中堅栄養教諭資質向上研修Ⅰ(小・中・高・特)	5				5			
	134 中堅栄養教諭資質向上研修Ⅱ(小・中・高・特)	3	4	12	4.0	0	4	0	
	143 栄養教諭20年経験者研修(小・中・高・特)	0	2	0	4.0	0	2	0	
	105 新規採用養育助手・常任指導員研修(高・特)					7	6	42	3.9
基 本 研 修	106 新規採用学校事務職員研修(小・中・高・特)	10	7	70	3.9				
	基本研修 計	424	3907	1387	3.9	11	1	11	4.0
	201 新任校長研修(小・中・高・特)	43	3	129	3.8				
	202 新任副校長研修(小・中・高・特)	0	3	0					
	203 新任教頭研修(小・中・高・特)	56	3	168	3.9	17	3	51	3.9
	204 校長研修(高・特)					38	1	38	3.9
	205 副校長・教頭研修(高・特・県立中)	1	2	2	高特を含む	87	2	174	3.7
	206 公立幼稚園等園長研修(幼・認二)	40	1	40	4.0				
	207 新任主幹教諭研修(小・中・高・特)	7	2	14	3.9	4	1	4	4.0
	208 主幹教諭研修(高・特)					7	1	7	3.9
	209 新任指導教諭研修(小・中・高・特)	13	2	26	3.8				
	210 新任教務主任研修(小・中・高・特)	54	1	54	3.8	12	2	24	4.0
	211 教務主任研修(高・特)					40	1	40	3.8
	212 小・中学校教育指導員研修	30	2	60	3.8				
	213 新任生徒指導主事研修(小・中・高・特)	55	1	55	3.8	11	1	11	3.9
職 務 研 修	214 生徒指導主事研修(高・特)					53	3	159	3.8
	215 進路指導主事研修(高)					43	1	43	3.4
	216 新任現職教育主任研修(小・中・高・特)	65	2	130	3.8				
	217 新任特別支援教育担当教員研修(小・中・高・特)	96	2	192	3.8	3	2	6	小中に含む
	218 新任特別支援教育担当教員研修(特)	24	1	24	3.8	24	1	24	小中に含む
	219 新任特別支援教育コーディネーター研修(幼・こ)	34	2	68	3.8				
	220 新任特別支援教育コーディネーター研修(小・中・高・特)	42	3	126	3.7	9	3	27	小中に含む
	221 新任特別支援教育コーディネーター研修(小・中・高・特)	55	3	165	3.6				
	222 栄養教諭・学校栄養職員研修(小・中・高・特)	90	1	90	3.7	8	1	8	小中に含む
	223 県立学校保健管理者・衛生推進者研修(県立中・高・特)	35	1	35	3.7	38	1	38	3.6
	224 理科実習教諭研修(高)	68	1	68	3.9	6	1	6	小中に含む
	225 事務局長等新規採用者研修(事務局)					33	1	33	小中に含む
	226 小・中学校主任主事・主事研修会	35	1	35	3.5	26	1	26	4.0
	227 小・中学校主任研修会								
	228 小・中学校事務主任研修会	40	1	40	3.8				
	229 小・中学校事務グループリーダー研修会	30	1	30	3.9				
	230 学校事務管理者研修会	48	1	48	3.7				
	231 技能職員(福祉)研修(高・特)					28	1	28	3.6
	職務研修 計	961	1599		3.8	498		758	3.8

区分	研修課題名	受講者数	対象	日数	受講者のべ数	評価
学 習 指 導	301 小学校外国語活動指導力・英語力向上	48	小	3	144	3.6
	302 中学校英語指導力・英語力向上	33	中	3	99	3.7
	303 小学校道徳教育指導力向上	156	小特	1	156	3.7
	304 中学校道徳教育指導力向上	69	中特	1	69	3.7
	305 学校給食危機管理及び食育推進	319	小中高特・調	1	319	3.5
	306 香川県学校保健	245	幼小中高特・座	1	245	3.7
	307 小学校国語の授業づくり	12	小特	1	12	3.6
	308 中学校国語の授業づくり	0	中特	1	0	
	309 言語活動を軸とした授業改善(高校国語)	0	高特	1	0	
	310 小学校算数の授業づくり	16	小特	1	16	3.7
	311 中学校算数の授業づくり	4	中特	1	4	4.0
	312 高校数学の授業改善	0	高特	1	0	
	313 小・中学校理科の授業づくり-全国学力・学習状況調査に基づく授業改善-	15	小中高特	1	15	3.8
	314 道徳の授業づくり	30	小中高特	1	30	3.5
	315 今日から始める主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	78	小中高特	1	78	3.4
	316 みんなで進める主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	52	小中高特	1	52	3.7
生 活 指 導	317 ネットトラブルの現状と対応-ネットいじめ・ネット依存を中心に-	16	小中高特	1	16	3.6
	318 教育相談の校内体制づくり-不登校の子供へのチーム援助-	7	小中	1	7	4.0
	319 発達障害のある子供の保護者との教育相談	29	幼小中高特	1	29	3.9
	320 事例から考える教育相談対応	7	高特	1	7	4.0
	321 こんなに使える表計算ソフト(関数編)	32	幼小中高特	1	32	3.8
	322 やってみたいアプレット活用(基礎・実践編)	13	幼小中高特	1	13	3.5
	323 はじめてさわるタブレットPC(午前)	13	幼小中高特	1	13	3.8
	324 はじめてさわるタブレットPC(午後)	0	幼小中高特	1	0	
	325 ICTを活用した授業づくり(午前)	22	幼小中高特	1	22	3.9
	326 ICTを活用した授業づくり(午後)	0	幼小中高特	1	0	
	327 特別支援教育におけるパソコン活用	9	幼小中高特	1	9	3.8
	328 さわってみたいデジタルプログラミング言語	17	幼小中高特	1	17	3.8
	329 プログラミング教育の授業づくり	23	幼小中高特	1	23	3.9
	330 特別支援教育障害種別-知的障害、発達障害-	29	幼小中高特	1	29	4.0
	331 特別支援教育障害種別-情緒、肢体不自由-	23	幼小中高特	1	23	3.8
	332 特別支援教育障害種別-聴覚・言語障害、視覚障害-	53	幼小中高特	1	53	3.8
特 別 支 援 教 育	333 特別支援教育障害種別-障害・言語障害、視覚障害-	不詳	幼小中高特	1		
	334 特別支援を必要とする子供への対応	10	幼小中高特	1	10	3.9
	335 特別支援教育コーディネーター・アドバン	21	幼小中高特	1	21	3.7
	336 特別支援教育の視点からの授業	23	小中高特	1	23	3.7
	337 管理職マネジメント(1)-学校経営・人材育成と教員業務改善-	15	小中管理職	1	15	4.0
	338 管理職マネジメント(2)-特別支援教育、生徒指導-	2	小中管理職	1	2	4.0
	339 学校危機管理とその対応	5	高・幼小中高特	1	5	3.9
	340 子供の命を守る！南海地震防災シミュレーション	25	幼小中高特	1	25	3.9
	341 地元の自然から学ぶ！さねの森フィールドワーク	7	幼小中高特	1	7	4.0
	342 香川の「ジオ教材」フィールドワークプログラム(PartⅣ)	25	小中高特	1	25	3.9
	343 学校司書に求められる役割・職務	不詳	小中司書	1		
	計	1665				
	専門研修					

公開講演 全15回 関係研修参加者 895名 希望参加者 258名 計1153名

平成30年度 教育相談事業

(1) 相談総数(電話・来所・メール・FAX)

① 相談方法別内訳

相談方法		H27		H28		H29		H31.2末	
		方法別計	内訳	方法別計	内訳	方法別計	内訳	方法別計	内訳
電話	子ども相談	2,344	582	2,677	651	3,299	1,143	3,412	510
	子育て相談		1,142		1,324		1,287		1,338
	子どものネットトラブル相談		35		37		23		26
	24時間いじめ相談		585		665		846		1,538
来所		1,047		1,121		1,227		818	
メール		298		189		182		197	
FAX		1		1		4		3	
計		3,690		3,988		4,712		4,430	

② 主訴別内訳

大分類	細分類	H27		H28		H29		H31.2末	
		大計	細計	大計	細計	大計	細計	大計	細計
学校生活	不登校	1,727	620	1,831	611	1,842	607	1,338	490
	いじめ		46		24		18		21
	学校・教師関係		512		566		443		405
	交友関係・集団不適応		277		302		348		255
	進路・適性		231		255		376		122
	学業不振・学習方法		41		73		50		45
家庭生活	しつけ・育て方	527	333	541	337	757	423	609	381
	家族関係		194		204		334		228
身体・精神・行動	神経症、精神疾患	246	148	345	189	890	617	482	342
	健康・発育		88		137		251		115
	非行		9		6		13		17
	自殺		1		13		9		8
ネット	ネットトラブル	30	30	39	39	20	20	34	34
学校組織	教職員自身の悩み	152	42	141	30	121	22	152	26
	コンサルテーション		110		111		99		126
その他	その他	1,008	1,008	1,091	1,091	1,082	1,082	1,815	1,815
計		3,690		3,988		4,712		4,430	

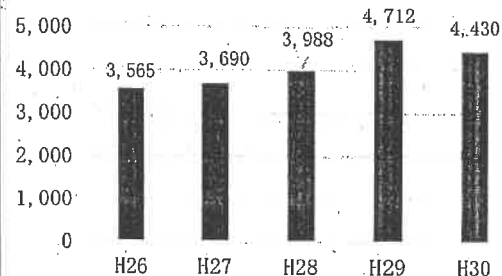
(2) ネットトラブル相談詳細(電話・来所・メール・FAX)

主 訴	H27	H28	H29	H31.2末
プロフ・ブログ、SNS等の削除方法	3	8	4	5
プロフ・ブログ、SNS等でのいじめ相談	6	2	4	10
架空請求等による被害相談	4	4	0	3
なりすましメールによる被害相談	1	5	0	0
その他(※)	16	20	12	16
計	30	39	20	34

(注)各窓口への相談主訴が「ネット」であるものを含む

(※) ゲームやコミュニティサイトに夢中になる子どもへの対応、迷惑メール対策、情報提供等

(参考) 相談総数推移



平成30年度 カリキュラムセンター事業

■研修サポート事業

(H30 は、H31. 2 月末現在)

① 年度別派遣回数推移

H26	H27	H28	H29	H30
388	406	541	555	522

※高松市内の小中学校への派遣は除く。(原則、高松市の小中学校への派遣は、高松市総合教育センターが実施。)

② 校種、依頼の種類ごとの派遣件数

派遣内容・派遣先	H26	H27	H28	H29	H30
校内研修	87	93	228	249	206
教育研究団体	67	56	60	58	61
教育委員会(県、市町)	33	14	18	25	29
教職1年経験者研修	9	1	13	8	2
研修員置籍校訪問	18	31	42	38	38
その他	6	39	2	2	1
小計(初任者研修を除く)	220	234	363	380	337
初任者研修	168	172	178	175	185
総計	388	406	541	555	522

■学校教育指導委員派遣事業(スクールアドバイザー)

(H30 は、H31. 2 月末現在)

H26	H27	H28	H29	H30
11	5	4	5	3

■学校教育力向上支援事業(さぬき学びの支援隊)

(H30 は、H31. 2 月末現在)

□派遣総数

	登録者数	派遣学校数
H26	190 人	109 校
H27	190 人	98 校
H28	220 人	115 校
H29	260 人	120 校
H30	285 人	114 校

○うち教員の派遣

	登録者数	派遣学校数	延べ派遣回数
H26	180 人	98 校	1810 回
H27	179 人	93 校	2094 回
H28	209 人	105 校	2212 回
H29	240 人	109 校	2099 回
H30	265 人	106 校	2259 回

○うち事務職員の派遣

	登録者数	派遣学校数	延べ派遣回数
H26	10 人	16 校	188 回
H27	11 人	11 校	133 回
H28	11 人	15 校	250 回
H29	20 人	18 校	291 回
H30	20 人	11 校	194 回

※派遣学校数については、教員、事務職員の両方を派遣している学校があるため、総派遣数と内数が異なる。

※支援内容

・若年教員への指導、放課後の個別指導、生徒指導補助、Web サイト作成、特別支援学級個別指導 等

■研究相談

○研究相談件数

(H30は、H31. 2月末現在)

H26	H27	H28	H29	H30
364	229	437	378	364

※主な相談内容

情報教育、教育相談、教育課程、教科

■Webサイトによる情報提供

(H30は、H31. 2月末現在)

○学習指導案等収集件数 1,953件

○Webサイト訪問回数

延べ訪問回数(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H26								3,435	3,966	4,582	3,199	3,424	18,606	3,721
H27	6,344	7,004	7,393	8,114	7,800	6,087	5,540	4,984	4,722	5,714	5,885	4,642	74,229	6,186
H28	6,619	8,525	8,098	7,676	5,301	5,032	5,069	4,293	4,536	4,601	4,091	3,700	67,541	5,628
H29	6,386	6,298	5,974	5,966	4,175	4,106	4,831	4,577	4,442	4,571	3,825	3,810	58,961	4,913
H30	6,715	12,830	5,115	5,174	4,346	4,542	4,070	5,079	4,854	6,175	5,252		64,152	5,832

■教育資料の貸出

○所蔵資料数

(H30は、H31. 2月末現在)

	H27	H28	H29	H30
教育図書	13,935冊	14,728冊	17,136冊	11,691冊
研究論文等	15,125点	15,426点	15,972点	16,260点

■施設開放事業

○利用状況

(H30は、H31. 2月末現在)

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29	団体数	5	15	18	15	13	7	14	10	3	15	15	4	135
	利用者数	204	643	540	599	609	174	345	570	68	447	421	103	4,723
H30	団体数	10	17	14	9	13	7	16	13	6	13	19		137
	利用者数	217	621	352	345	477	185	412	597	239	360	597		4,402

平成31年度 香川県教育センター事業の概要について

H31.3.1

1 調査研究事業

本県の実態に即した調査研究

- ① 調査研究
 - ・個別最適化された新たな学びに関する調査研究
 - ・情報教育に関する調査研究
 - ・全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析
- ② 調査研究成果の普及
 - ・研究発表会 平成32年2月14日(金)

2 教職員研修事業

学校ニーズや今日的教育課題を踏まえ、実践的指導力を高める教職員研修

- ① 一般研修（基本研修・職務研修・専門研修）
 - ・喫緊的教育課題に対応する研修の充実
 - ・教員等の多忙化に配慮した研修の効率化
- ② 小・中学校教員長期研修
- ③ 指導改善研修
- ④ 公開講演
- ⑤ オンライン研修サイトの充実と利活用

3 教育相談事業

幼児・児童生徒・保護者への相談活動の充実と教職員への支援を行う教育相談

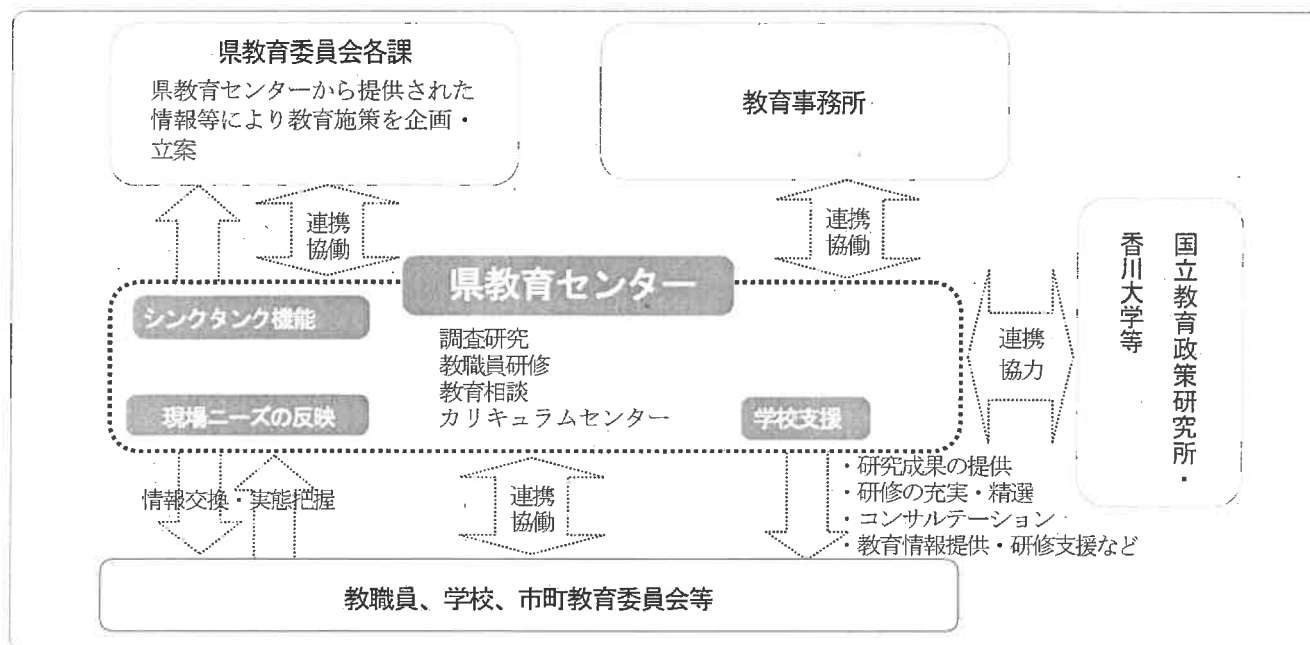
- ① 子ども電話相談、子育て電話相談
- ② 24時間いじめ電話相談
- ③ 子どものネットトラブル相談
- ④ 来所・メール・FAX相談
- ⑤ 学校・教職員・保護者等への支援
 - ・学校支援アドバイザーの活用
 - ・サポートブックの提供
 - ・教職員等へのコンサルテーション
 - ・研究相談

4 カリキュラムセンター事業

自主研修や校内研修等、研修や研究を支援するカリキュラムセンター機能

- ① 研修サポート事業
 - ・校内研修等の支援（学習指導・特別支援教育・情報教育・学校経営等）
- ② 教育情報提供
- ③ 研究相談
- ④ 学校教育力向上支援事業（さぬき学びの支援隊）
- ⑤ 学校教育指導委員派遣事業（スクールアドバイザー）
- ⑥ 施設開放事業等（研修室の貸出（平日、土曜日））
- ⑦ インターネットによる学校支援

5 教育センター関係図



1 調査研究事業

- ◆ 国や香川県の教育課題を踏まえた調査研究を行い、その成果を学校や教育関係機関に提供する。

1 個別最適化された新たな学びに関する調査研究

- ・ 児童生徒一人一人の学びに関する個別の学習状況を把握するとともに、個に応じた効果的な指導に関する研究を行う。
- ・ テーマに関する先進的な実践情報を収集するとともに、教員等の協力を得て、効果的な活用について提案する。

2 情報教育に関する調査研究

- ・ 多様な学びを推進するためのICTの効果的な活用及び評価について研究する。
- ・ 業務改善におけるWebサイトの活用、オンライン研修等の充実について研究する。
- ・ 小学校におけるプログラミング教育について研究する。

3 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析

- ・ 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の詳細な結果分析と活用ツールによって、学校での改善に向けた取組を支援するとともに、学力向上モデル校事業と協働して、先進的な研究推進や授業づくりを広く普及する。
- ・ 実施年度及び過去の調査結果を精緻に分析し、指導方法等の改善に資する解説資料を作成する。

新学習指導要領改訂等に伴う喫緊の教育課題についても、調査研究を必要に応じて行う。

調査研究成果の普及

○ 研究発表会の開催

開催日：平成32年2月14日（金）

○ 報告書の発刊・配布

- ・ 個別最適化された新たな学びに関する調査研究
- ・ 情報教育に関する調査研究
- ・ 平成31年度全国学力・学習状況調査報告書（平成31年9月発行）
- ・ 平成31年度香川県学習状況調査報告書（平成32年2月発行）



【平成30年度開催の様子】

○ 調査研究成果のWebサイトでの公開

平成30年度

- ・ アクティブ・ラーニングの視点から実現する学びの質の向上に関する調査研究
- ・ 情報教育に関する調査研究（1年次）
- ・ 香川県学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果分析

平成29年度

- ・ アクティブ・ラーニングの視点から実現する学びの質の向上に関する調査研究（1年次）
- ・ 協働的な学習におけるICTの活用に関する調査研究
- ・ 香川県学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果分析



2 平成31年度 香川県教員研修計画

基本研修

教職経験に応じた知識・技術の習得など、実践的指導力の向上を図る。

【17 講座】

教諭(小中高特)の研修

1年目

初任者研修

- 教員としての使命感や倫理観の醸成
- 学習指導、生徒指導、子供理解等の実践的指導力の育成
- 連携・協働しながら学校づくりに参画する意識の高揚
- *校外研修：小・中17日間 / 高・特19日間
- *校内研修：60日程度

2年目

教職1年経験者研修

- 学習指導を中心とした指導力の向上
- *校外研修：小・中3日間 / 高・特2日間
- *校内研修：小・中2日間 / 高・特1日間

7年目

中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

- 学習指導・学級経営を中心としたマネジメント力の向上
- *校外研修：小・中・高・特6日間
- *校内研修：小・中・高・特10日程度

11年目

中堅教諭等資質向上研修Ⅱ

- 専門性を高めるための自己研鑽意欲の向上
- マネジメントの推進力の育成
- *校外研修：小・中7日間 / 高・特6日間
- *校内研修：小・中・高・特10日程度

21年目

教職20年経験者研修

- 経営的視野に立つ識見と指導力の向上
- *校外研修：2日間

基礎期

教員としての基礎を固める

発展期

ミドルリーダーとしての推進力の養成

深化期

熟練教諭としての指導力の養成

教諭(小中高特)以外の教職員研修

1年目

初任者研修(幼・こ)
新規採用養護教諭研修
新規採用栄養教諭研修
新規採用実習助手・寄宿舎指導員研修
新規採用学校事務職員研修

7年目

中堅養護教諭資質向上研修Ⅰ
中堅栄養教諭資質向上研修Ⅰ

中堅教諭等資質向上研修(幼・こ)

11年目

中堅養護教諭資質向上研修Ⅱ
中堅栄養教諭資質向上研修Ⅱ

21年目

養護教諭20年経験者研修
栄養教諭20年経験者研修

職務研修

職責・職能に応じた知識・技能の習得など、職務遂行能力の向上を図る。

校長研修会 副校長研修会 教頭研修会 主幹教諭研修会
指導教諭研修会 教務主任研修会 生徒指導主事研修会 進路指導主事研修会
保健主事研修会 栄養教諭・学校栄養職員研修会 現職教育主任研修会 司書教諭研修会
衛生管理者・衛生推進者研修会 特別支援教育担当教員研修会 等

【29 講座】

専門研修

学校のニーズや国・県の施策等を踏まえ、専門的な資質・能力の向上を図る。

学習指導領域 情報教育領域 学校経営領域 生徒指導・教育相談領域
特別支援教育領域 その他の教育課題領域 等

【41 講座】

事務局各課の研修

その他の研修

様々な方法で教員としての資質向上と指導力の充実を図る。

小・中学校教員
長期研修

指導改善研修

公開講演

研修サポート

若年教員授業力
向上研修会

オンライン
研修

H31.3.1

区分		基礎期		発展期		深化期	
基本研修	小・中・高・特論	101 初任者研修(小・中)17(高・特)19	121 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ(小・中)6	131 中堅教諭等資質向上研修Ⅱ(小・中)7	141 教職20年経験者研修(小・中)2・ 教職20年経験者研修(高・特)2		
	幼稚園・認定こども園教員	102 初任者研修(幼・こ)9	122 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ(小・中・高・特)15	132 中堅教諭等資質向上研修(幼・こ)6	142 養護教諭20年経験者研修(小・中・高・特)2		
	養護教諭	103 新規採用養護教諭研修(小・中)16(高・特)15	123 中堅養護教諭資質向上研修Ⅰ(小・中・高・特)5	133 中堅養護教諭資質向上研修Ⅱ(小・中・高・特)4	143 栄養教諭20年経験者研修(小・中)2		
	栄養教諭	104 新規採用栄養教諭研修(小・中・特)15	124 中堅栄養教諭資質向上研修Ⅰ(小・中・高・特)5	134 中堅栄養教諭資質向上研修Ⅱ(小・中・高・特)4			
	実習助手等	105 新規採用実習助手・寄宿舎指導員研修(高・特)6					
	学校事務職員	106 新規採用学校事務職員研修(小・中)7					
職務研修	管理職	201 新任校長研修会(小・中)3(高・特)1	202 新任副校長研修会(小・中)3	203 新任教頭研修会(小・中)3(高・特)3			
	主幹教諭・指導教諭	204 校長研修会(高・特)1	205 教頭・副校長研修会(県立中・高・特)2	206 公立幼稚園等園長研修会1			
	教務主任等	207 新任主幹教諭研修会(小・中)2(高・特)1	208 主幹教諭研修会(高・特)1	209 新任指導教諭研修会(小・中)2			
	生徒指導・進路指導	210 新任教務主任研修会(小・中)1(高・特)2	211 教務主任研修会(高・特)1	212 小・中学校教育指導研修会2			
	現職教員	213 新任生徒指導主事研修会(小・中)1(高・特)1	214 生徒指導主事研修会(高・特)3	215 進路指導主事研修会(高)1			
	特別支援教育	216 新任現職教育主任研修会(小・中)2					
	保健・安全等	217 新任特別支援教育担当教員研修会(小・中・高)2(特)1	218 新任特別支援教育コーディネーター研修会(幼)2(小・中・高)3				
	学校図書・実習教諭	219 新任保健主事研修会(小・中)1	220 栄養教諭・学校栄養職員研修会(小・中・特)1	221 衛生管理者・衛生推進者研修会(県立中・高・特)1			
	講師等	222 新任司書教諭研修会(小・中・高・特)1	224 理科実習教諭研修会(高特)1		<224は、平成31年度は実施しない>		
	学校事務職員等	223 新任講師・養護助教諭研修会(小・中・高・特)1	226 小・中学校主事主事主事研修会1	227 小・中学校主任研修会1	228 小・中学校事務主任研修会1		
専門研修	領域	225 事務局等新規採用者研修会(事務局)2	230 学校事務管理者研修会1	231 技能職員(嘱託)研修会(高・特)1	<230は、平成31年度は実施しない>		
	学習指導	229 小・中学校事務グループ・ブリーディング・サプリーダー研修会1					
	情報教育	301 小学校外国語教育指導力・英語力向上	311 中学校数学の授業づくり	対象	日数		
	生徒指導・教育相談	302 中学校英語指導力・英語力向上	312 高校数学の授業改善	小中高特	1		
		303 小学校道徳教育指導力向上	313 道徳の授業づくり	小中高特	1		
		304 中学校道徳教育指導力向上	314 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	小中高特	1		
		307 小学校国語の授業づくり	315 みんなで進める主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	小中高特	1		
		308 中学校国語の授業づくり					
		309 高校国語の授業改善(高校国語)					
		310 小学校算数の授業づくり					
生徒指導・教育相談	316 ネットワークの現状と対応	318 発達障害のある子どもの保護者との教育相談	幼・小・中・高特	1			
	317 教育相談の校内体制づくり	319 事例から考える教育相談対応	高特	1			
情報教育	320 こんなに使える表計算ソフト(関数編)	325 特別支援教育におけるパソコン活用	幼・小・中・高特	1			
	321 やってみようプレゼンソフト(基礎・実践編)	326 さわってみようビジュアルプログラミング言語	幼・小・中・高特	1			
	322 はじめてさわるタブレットPC	327 プログラミング教育の授業づくり(基礎編)	幼・小・中・高特	1			
	323 ICTを活用した授業づくり(午前)	328 プログラミング教育の授業づくり(教科編)【新規】	幼・小・中・高特	1			
	324 ICTを活用した授業づくり(午後)						
特別支援教育	329 特別支援教育障害種別一知的障害、発達障害一	333 特別な支援を必要とする子供への対応	幼・小・中・高特	1			
	330 特別支援教育障害種別一肢体、不自由病弱一	334 特別支援教育の視点からの授業づくり	小中高特	1			
	331 特別支援教育障害種別一自閉症、知的障害一						
	332 特別支援教育障害種別一視覚障害、聴覚、言語障害一						
学校経営	335 管理職マネジメント	337 子どもの命を守る！「南海地震防災シミュレーション」	幼・小・中・高特事	1			
	336 学校危機管理とその対応						
その他の教育課題	305 学校給食危機管理及び食育推進	339 香川の「ジオ教材」フィールドワークプログラムⅦ	小中高特	1			
	306 香川県学校保健	340 理科実習教諭のための教材開発	理科実習教諭(公約)	1			
	338 地元の自然から学ぶさぬきの森フィールドワーク	341 学校司書に求められる役割・職務	学校司書(小中)	1			
その他	小・中学校教員長期研修	若年教員授業力向上研修	オンライン研修	40			

3 教育相談事業

- ◆ 教育上の諸問題について児童生徒及び保護者、学校関係者等からの相談に応じるとともに、学校や教育支援センター等の相談活動を支援する。

< 相談窓口 >

● 電話相談

★ 子ども電話相談

■ 相談時間 9:00～21:00（通年）

■ 電 話 087-813-3119

★ 子育て電話相談

■ 相談時間 9:00～21:00（通年）

■ 電 話 087-813-2040

★ 24 時間いじめ電話相談

■ 相談時間 24 時間（通年）

■ 電 話 087-813-1620, 0120-0-78310（24 時間子供 SOS タイム）

★ 子どものネットトラブル相談

■ 相談時間 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）9:00～17:00

■ 電 話 087-813-3850

● 来所相談（要予約）

■ 相談時間 月～金曜日 9:00～17:00

第 2, 4 土曜日 13:00～17:00

（祝日・年末年始を除く）

■ 申し込み 087-813-0945

※ 臨床心理士による相談も可

● メール相談

■ E-mail kesoudan@kagawa-edu.jp

● FAX相談

■ FAX 087-881-3272

相 談 活 動

< 学校・教職員・保護者等 >

☆ 学校支援アドバイザーの活用

児童虐待や家庭に問題を抱えた児童生徒の環境改善を図る。

- ・ 関係機関とのネットワーク構築、連携・調整
- ・ 事例検討会への参加とアセスメント及び問題解決のための支援

☆ 教職員等へのコンサルテーション

教育相談に関する専門的な助言や研修を行う。

- ・ 子どもや保護者へのかかわり方を助言
- ・ 学級集団の人間関係づくりへの提案
- ・ 事例検討会への支援

☆ サポートブックの提供

校内研修や若年教員への指導資料として提供する。

- 1 「保護者とのよりよい関係を築くために」
- 2 「だれもが安心して過ごせる学級をつくるために」
- 3 「ゆるやかな絆と信頼で結ばれた職場づくりのために」

※ 教育センターWeb サイトに掲載。

☆ 研究相談

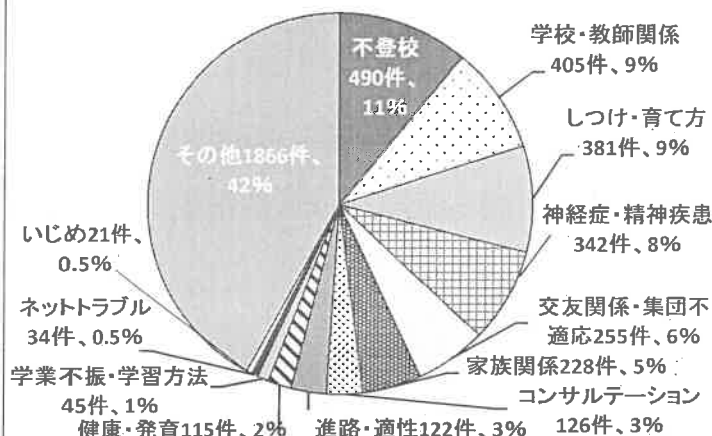
電話等で教職員等に情報提供や助言をする。

- ・ 高校中退者や中卒後進路未決定者への進路案内
- ・ 校内研修会や事例検討会への講師紹介

支 援 活 動

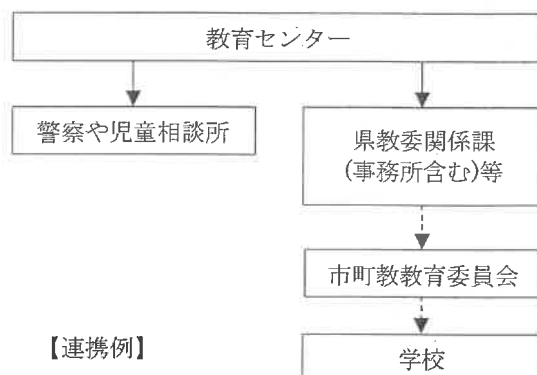
平成 30 年度相談状況

相談件数 4,430 件（平成 31 年 2 月末現在）



関係機関との連携

いじめ、虐待・自殺予告などの緊急を要する相談については、緊急連絡網に従って県教委関係課へ連絡するとともに、必要に応じて警察や児童相談所などの関係機関への通報を行う。



4 カリキュラムセンター事業

- ◆ 教育センター職員や退職教職員の派遣、インターネットも活用した各種の情報提供等、様々な方法で学校の教育活動を支援する。

研修サポート

指導主事を学校等へ派遣し、学校力の強化や教職員の資質向上のために実施する研修を支援する。



(平成 31 年 2 月末実績 : 522 件)

研究相談

学校における研究や研修、教育実践上の諸問題等について、教職員からの相談に応じる。

- 相談内容 (平成 31 年 2 月末実績 : 364 件)
教育課程 (0)、学習指導 (16)、教育相談 (4)、
情報教育 (47)、図書資料 (294)、教育課題等 (3)
- 相談方法 来所、電話、メール

教育情報提供

様々な教育資料を収集し、提供する。

【教育ライブラリー】

- 収蔵資料 (平成 31 年 2 月末実績)
教育図書 (11,691 冊)、研究紀要 (16,260 点)、
教育雑誌 (29 種)、教育研究物、視聴覚資料 (香
川県視聴覚ライブラリー、香川県高等学校視
聴覚ライブラリーを含む)、教育行政資料、各
社の教科書
- 閲覧・貸出等
 - ・ 開室時間 月～金 9:00～17:00
土 9:00～16:00
 - ・ 貸出冊数 1 回につき 5 冊まで
 - ・ 貸出期間 15 日間

【Webサイト】

- 提供資料 (平成 31 年 2 月末実績)
学習指導案・実践事例 (1,953 件) 等

学校教育力向上支援事業 (さめき学びの支援隊)

退職教職員を小・中学校に派遣し、教職員の資質・能力の向上等に向けた支援を行う。

- 主な支援内容
 - ・ 校内研修の講師 ・ 若年教員への指導と助言
 - ・ 放課後や別室での学習指導
- 〔平成 31 年 2 月末実績 : 支援隊登録者数 285 人、
派遣学校 114 校、派遣時間総数 8,615 時間〕

学校教育指導委員 (スクールアドバイザー) の派遣

栄養指導、保健指導、学校事務等に優れた教職員を小・中学校に派遣し、研修活動等でのアドバイスを行う。

(平成 31 年 2 月末実績 : 3 件)

施設開放事業

研修室を教職員の自主的な研究・研修の場として貸出す。(平成 31 年 2 月末実績 : 137 団体、4,402 人)

- 貸出日時 平日及び土曜日 9:00～16:30
- 対象施設 一般研修室

インターネットによる学校支援

インターネットにより各学校を結ぶ香川県情報教育支援サービスを通じ、様々な教育情報や各種サービスを提供する。

教育センター Web サイト

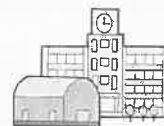


香川県教育センター

検索

- 教育情報提供
- 教育センター研修受講申込
- 教育ライブラリー図書検索
- 教育センターアンケート
- オンライン研修サイト

各学校



指標の活用について ー平成 30 年度研修企画担当者セミナー (NITS) よりー

1 指標の意義

スタンダードに基づく教育改革

一般論で言えば、

「教育の質向上のために、スタンダードを設け、達成状況を把握し、教育に対する責任を明確にする」

教育計画・内容のスタンダード

→ 学習指導要領

学び続ける教員の成長のためのスタンダード

→ 育成指標

【課題】

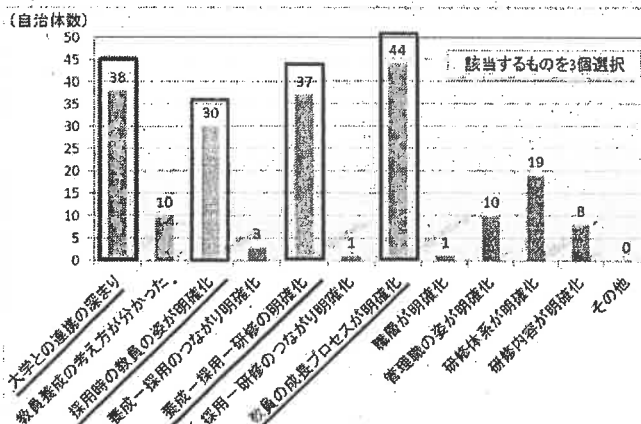
意義が現場に浸透しているか？

【対応】

- ・集合研修等を通して、指標を目にする機会をできるだけつくる
- ・校長面談などで強み・弱みの分析等に活用してもらう

2 「指標」策定の成果 (各自治体アンケート結果より)

「指標」策定の成果



《本県の回答》

- ・教員の成長プロセスが明確化
- ・管理職の姿が明確化
- ・研修体系が明確化

【課題】

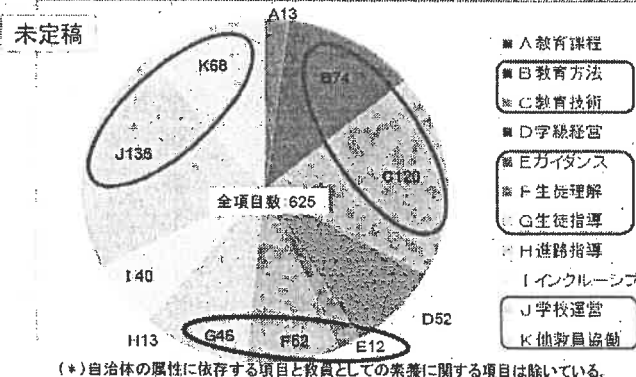
教職大学院と今後、どのように連携していくのか？

【対応】

- ・教員研修システム共同開発委員会等での協議を進めていく

3 指標項目

指標の全項目数と個別の項目数



《本県の特徴》

- ・項目内容は、全国的に見てもオーソドックスなものである
 - ・項目数は、全国でも最も数が少ない
- 【メリット】：指標を意識化しやすい
【デメリット】：具体的な姿が想起しにくい

【課題】

具体的な姿をいかにイメージさせることができるか？

【対応】

- ・初任研、中堅研Ⅰ・Ⅱの自己評価表で具体的な姿の事例を明記する

想定される今後の課題

- 指標の活用方法
- 指標に対応した研修の効果
- 指標の改善・更新

(アンケート調査の回答から)

この意味するところは……

スタンダードに基づく教育改革は、アカウンタビリティとアセスメントが伴うと言われる(石井真二)。換言すると、P-D-C-Aの「P」が指標であり、「D」が指標に基づく研修、「C」がアセスメント、アカウンタビリティ、「A」が改善・更新となる。

4 今後の課題

- ・全国各自治体の抱える課題はほぼ同様

【課題】

- ・PDCAの「C」の部分をどのように行うか？
- ・指標の改善・更新をどのタイミングで実施するか？

【対応】

- ・学校支援アンケートで指標に関する質問を設置する
- ・初任研、中堅研Ⅱの受講者に対して指標に関する自己評価を実施する
- ・「教育基本計画」の次期改訂に併せて指標の改善、更新を検討する

5 その他課題

【課題】

- ・指導主事の共通認識の必要性

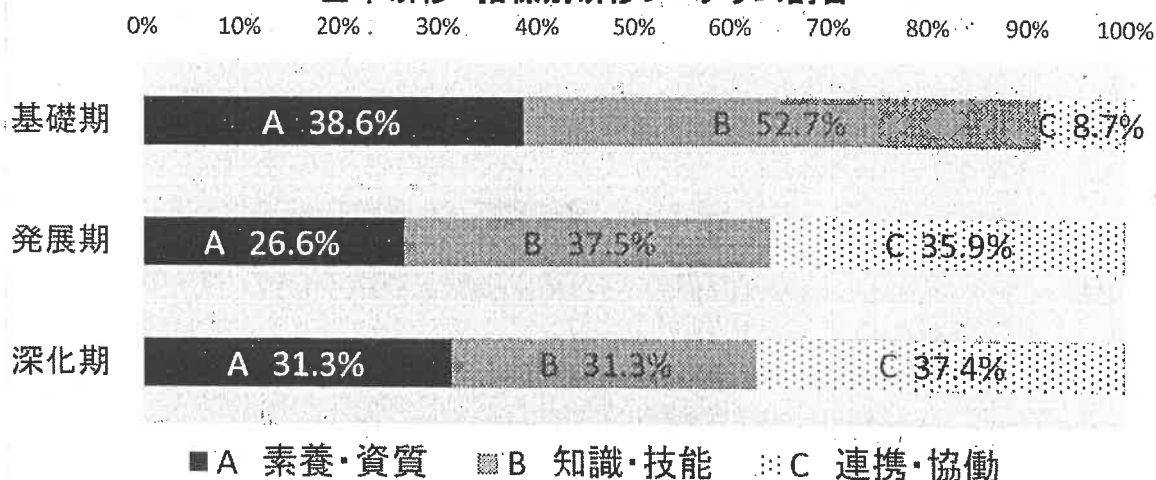
【対応】

- ・講話、演習時における受講者への意識づけ
- ・訪問指導時における管理職への活用の呼びかけや指導場面での活用等

基本研修における指標別・キャリアステージ別研修プログラム数

	対象研修名	○初任者研修 ○新採養護教諭研修 ○新採栄養教諭研修 ○新規採用実習助手 ・寄宿舎指導員研修 ○教職1年経験者研修	○中堅教諭等資質向上研修Ⅱ ○中堅養護教諭資質向上研修Ⅱ ○中堅栄養教諭資質向上研修Ⅱ	○教職20年経験者研修 ○養護教諭20年経験者研修 ○栄養教諭20年経験者研修		
		1 基礎期	2 発展期	3 深化期	計	平均評価
A 素養・資質	a 使命感・責任感	67	9	4	80	3.7
	b コミュニケーション	33	1	0	34	3.9
	c 自己研鑽	15	7	1	23	3.7
計		115	17	5	137	A平均:3.8
B 知識・技能	a 子供理解	36	5	4	45	3.8
	b 学習指導 保健教育 食に関する指導	72	13	0	85	3.9
	c 生徒指導	49	6	1	56	3.7
計		157	24	5	186	B平均:3.8
C 連携・協働	a 学校づくり	3	12	5	20	3.8
	b 参画・運営	5	8	1	14	3.7
	c 危機管理	18	3	0	21	3.8
計		26	23	6	55	C平均:3.8
合計		298	64	16	378	全平均:3.8

基本研修 指標別研修プログラム割合



指標の具体化について

— 平成30年度初任者研修・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ受講者アンケート質問紙より —

□ 指標に基づく研修成果による自己評価

この1年のこれまでのあなた自身の研修成果について、指標に沿って、自己評価を行ってください。
次の【評価基準】により4段階で自己評価し、あとの表中の評価欄1～9について、該当する番号を1つずつ選んでください。

＝ 初任者研修受講者アンケート質問紙より ＝

【評価基準】

基 準	評 価
若年教員として求められる資質能力を十分身に付けられた	①
若年教員として求められる資質能力をほぼ身に付けられた	②
若年教員として求められる資質能力をあまり身に付けられなかった	③
若年教員として求められる資質能力をほとんど身に付けられなかった	④

【研修成果の自己評価】

評価欄1～9の①～④のうち、該当する番号を1つずつ選び、回答用紙（マークシート）に記入してください。

観点		育成指標と基礎期に求められる具体的な姿	評価欄
A 素養・資質	使命感 責任感 a	教員の使命と責任を理解し、法規の遵守や綱紀の保持などに対する意識を高め、教員として必要な倫理観を培う。 (例)・教育公務員として服務規律を遵守し、規範意識をもって職務に専念することができる。 ・スケジュール管理に努め、時間や提出期限を守ることができる。	1 : Aa の評価 ① ② ③ ④
	コミュニケーション b	教育者としての自覚に基づき、子供や保護者などと適切なコミュニケーションがとれるような社会性を身に付ける。 (例)・言葉遣いやマナーなどの社会人としての常識を身に付け、誠実な対応ができる。 ・悩みや困ったことが生じた場合には、管理職や同僚に相談することができる。	2 : Ab の評価 ① ② ③ ④
	自己研鑽 c	管理職や同僚から学ぶ姿勢をもち、自分を見つめ、自ら進んで課題解決に取り組む。 (例)・今日的な教育の動向を把握し、求められる専門性を追求しようとする。 ・管理職や同僚等との助言を謙虚に受け止め、自分を振り返り自己の成長につなげることができる。	3 : Ac の評価 ① ② ③ ④

観点		育成指標と基礎期に求められる具体的な姿	評価欄
B 知識・技能	子供理解 a	子供とのかかわりを通して、子供の発達の段階や成長の背景、配慮を必要とする子供へのかかわり方を理解する。 (例)・児童生徒に公平かつ受容的、共感的にかかわることができる。 ・児童生徒一人一人の特性や状況、生活環境などを多面的に捉え、個に応じた指導、支援を行うことができる。	4 : Ba の評価 ① ② ③ ④
	学習指導 b	学習指導に関する基本的な知識や技能を身に付け、先輩教員等の指導を参考にして、計画的に授業づくりや学習評価ができる。 (例)・学習指導要領と児童生徒の実態を踏まえ、学習指導案を作成したり、授業を立案したりすることができる。 ・発問や板書、机間指導を効果的に用いて、授業のねらいに応じた指導を行うことができる。	5 : Bb の評価 ① ② ③ ④
	生徒指導 c	子供に自己存在感や自己決定の場を与え、成長を支援するとともに、共感的な人間関係を育成し、計画的に集団づくりへの取組ができる。 (例)・児童生徒のよさを認め、児童生徒が安心して安全に過ごせる温かい学級づくりに取り組むことができる。 ・不登校やいじめなどの教育課題について理解し、その予防、解決に取り組むことができる。	6 : Bc の評価 ① ② ③ ④
C 連携・協働	学校づくり a	学校の教育目標を理解し、目標達成に向けた自己の役割を自覚し、特色ある学校づくりにおける「チーム学校」の一員として行動する。 (例)・各校の学校教育目標の達成に向けて、自己の役割において PDCA サイクルを確立して取り組むことができる。 ・同僚と協働することの意義を理解し、問題解決に向けてチームで対応することができる。	7 : Ca の評価 ① ② ③ ④
	参画・運営 b	保護者や地域との連携の大切さを理解し、管理職や同僚に報告、連絡、相談をしながら、教員集団の中で自ら進んでかかわりをもつ。 (例)・保護者や地域、外部の専門機関等との連携の必要性を理解し、円滑かつ迅速に対応することができる。 ・担当する校務分掌について、責任を自覚し、迅速かつ正確な処理をするとともに、報告や相談を適切に行うことができる。	8 : Cb の評価 ① ② ③ ④
	危機管理 c	学校で起こり得る様々なリスクやトラブルを理解し、それに対応する力を身に付け、安心して安全な学校づくりに取り組む。 (例)・日頃から児童生徒の様子を観察したり、保護者や同僚と情報を共有して、指導の経過を記録しながら、問題の早期発見、未然防止に努めることができる。	9 : Cc の評価 ① ② ③ ④

＝ 中堅教諭等資質向上研修受講者アンケート質問紙より ＝

【評価基準】

基 準	評 価
中堅教諭等として求められる資質能力を十分身に付けられた	①
中堅教諭等として求められる資質能力をほぼ身に付けられた	②
中堅教諭等として求められる資質能力をあまり身に付けられなかった	③
中堅教諭等として求められる資質能力をほとんど身に付けられなかった	④

【研修成果の自己評価】

評価欄 1～9 の①～④のうち、該当する番号を1つずつ選び、回答用紙（マークシート）に記入してください。

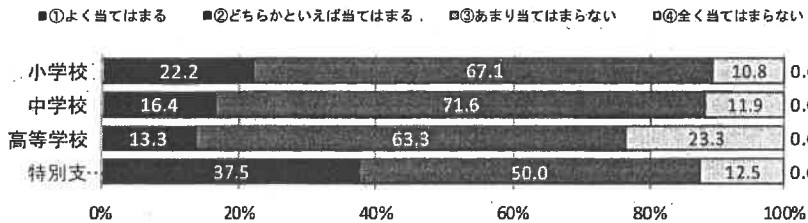
観点	育成指標と発展期に求められる具体的な姿	評価欄
A 素養・資質	使命感・責任感 a ミドルリーダーとしての使命感、責任感と高い倫理観に基づき、法規の遵守や綱紀の保持などを率先して実践する。 (例)・教育公務員として率先して服務規律を遵守し、綱紀の保持についての校内での意識が高まる雰囲気をつくることができる。 ・ミドルリーダーとしての自覚を持ち、使命感、責任感を持って、児童生徒の教育に携わるとともに、後輩教員への支援をすることができる。	1 : Aa の評価 ① ② ③ ④
	コミュニケーション b 教育者として自覚をもった発言や行動ができ、円滑なコミュニケーション力や豊かな人間性を身に付ける。 (例)・相手の思いや考えをその背景を含めて理解し、状況に応じて、適切な助言やかかわりができる。 ・教育者としての自覚ある言動を通して、子供や保護者、同僚及び地域の人々との信頼関係を築くよう努めることができる。	2 : Ab の評価 ① ② ③ ④
	自己研鑽 c 自己の教育実践を振り返り、課題解決のために教育情報を広く収集し、専門性を高めるための研究と修養に励む。 (例)・今日的な教育の動向を把握するとともに、研修会等で得た情報を発信し、学校全体の課題改善に向けた具体的な提案ができる。 ・学び続ける姿勢を維持し、積極的に情報を収集したり、具体的な提案をしたりしながら、共に高め合う教員集団づくりに貢献することができる。	3 : Ac の評価 ① ② ③ ④

観点		育成指標と発展期に求められる具体的な姿	評価欄
B 知識・技能	子供理解 a	子供の発達の段階や成長の背景を理解し、子供との関係を深めるとともに、配慮を必要とする子供への対応など、個に応じた適切な理解ができる。 (例)・児童生徒相互の好ましい人間関係づくりや、教師と児童生徒との信頼関係づくりに積極的にかかわり、一人一人の児童生徒に心地よい居場所を作ることができる。 ・児童生徒一人一人の特性や状況、生活環境などを多面的・多角的に捉え、個に応じた適切な指導、支援の組織的な対応を提案することができる。	4 : Ba の評価 ① ② ③ ④
	学習指導 b	子供の確かな学力を育成するために、専門的な知識や技能をより一層高め、他教員の範となるような学習指導ができる。 (例)・学習指導要領の教科、領域等の趣旨やねらいを理解し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、他の教員の範となるような学習指導ができる。 ・周囲からの意見や自己の授業の振り返り等を基に、授業改善や児童生徒の学習意欲の向上に積極的に取り組むことができる。	5 : Bb の評価 ① ② ③ ④
	生徒指導 c	子供の自己存在感を高め、成長を促すための適切な支援を行うとともに、共感的な人間関係を育成し、学校全体の教育活動の活性化につながる集団づくりができる。 (例)・他の教員と組織的に対応しながら、学級や学年のみならず学校全体の児童生徒の実態を把握し、よりよい集団づくりに取り組むことができる。 ・児童生徒の自己存在感を高めるとともに、児童生徒の将来を見据え、問題解決能力を引き出すための支援を行うことができる。	6 : Bc の評価 ① ② ③ ④
C 連携・協働	学校づくり a	学校の教育目標の達成に向けて、「チーム学校」の推進役として積極的にかかわり、特色ある学校づくりに取り組む。 (例)・各校の学校教育目標の達成に向けて、自校の特徴と課題を踏まえ、特色ある学校づくりに貢献することができる。 ・学年団や分掌等の要となり、学校の課題解決に向けて、リーダーシップを発揮することができる。	7 : Ca の評価 ① ② ③ ④
	参画・運営 b	保護者や地域との連携に積極的にかかわるとともに、他の関係機関等との連携を強化し、協働的な教員集団の中心的な役割を果たす。 (例)・保護者や地域、外部の専門機関等との連携の強化に努め、組織の一員として、その関係の維持に努めることができる。 ・協働的な教員集団づくりに貢献するとともに、後輩教員に的確な助言や支援をすることができる。	8 : Cb の評価 ① ② ③ ④
	危機管理 c	学校全体で取り組めるリスクやトラブルに対する未然防止策や対応策を提案し、安心して安全な学校づくりを推進する。 (例)・危機管理意識をもち、安全管理に対して適切な対応をするとともに、学校全体のリスクやトラブルに対する対応策や未然防止策を提案することができる。 ・的確な判断の下、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、安全に留意した校内外の環境を整えることができる。	9 : Cc の評価 ① ② ③ ④

指標に関する各種アンケート結果

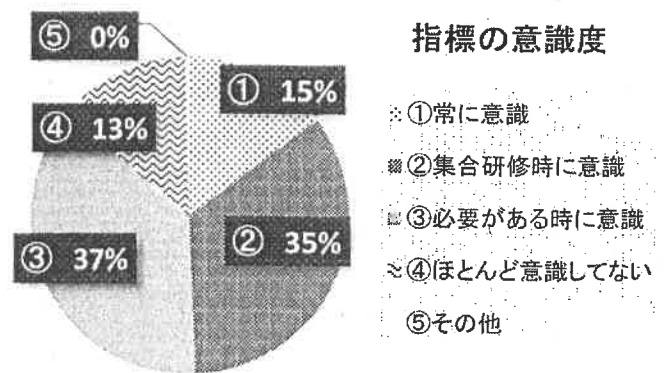
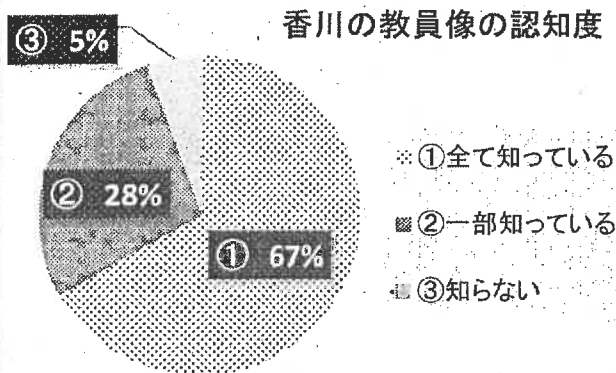
1 h30 年度学校支援に関するアンケート結果

指標について関心があるか



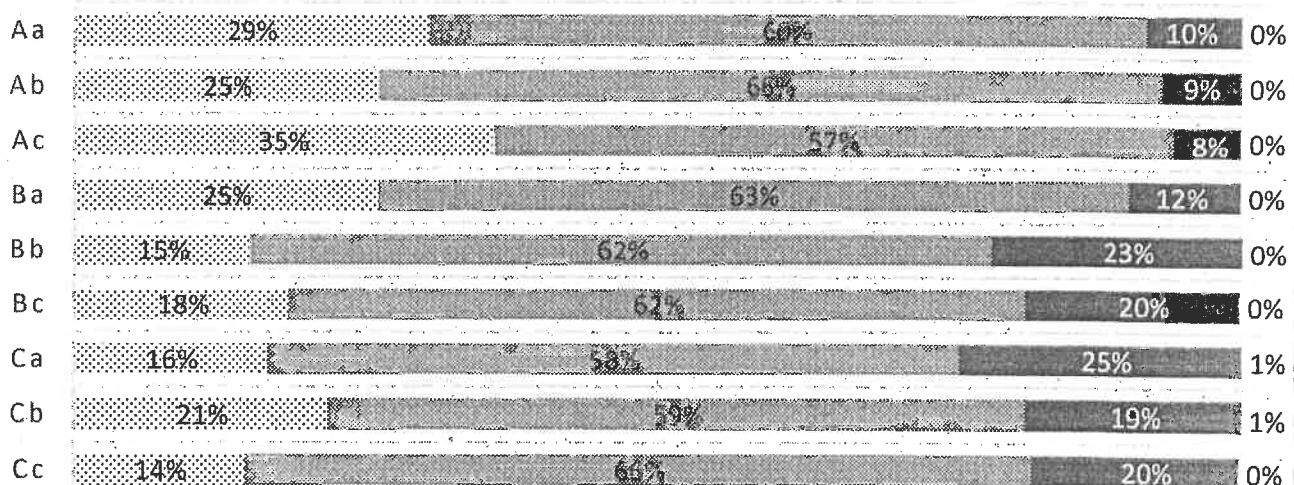
	①よく当てはまる	②どちらかといえば当てはまる	③あまり当てはまらない	④全く当てはまらない
小学校	22.2	67.1	10.8	0.0
中学校	16.4	71.6	11.9	0.0
高等学校	13.3	63.3	23.3	0.0
特別支援学校	37.5	50.0	12.5	0.0

2 h30 年度初任研・中堅研Ⅱ受講者対象アンケート結果



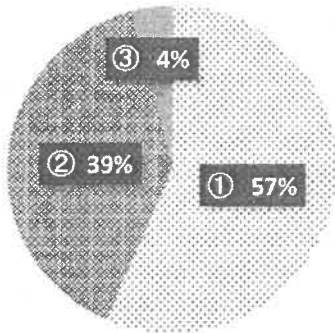
指標に基づく自己評価

- ① 十分身に付けられた
② ほぼ身に付けられた
③ あまり身に付けられなかった
④ ほとんど身に付けられなかった



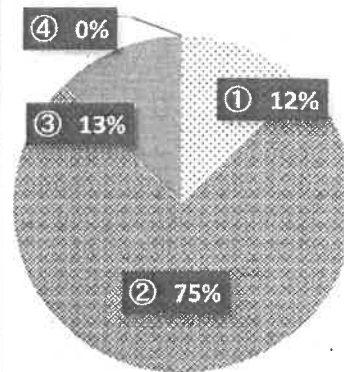
3 県教育センター指導主事対象アンケート結果

目指すべき教員像



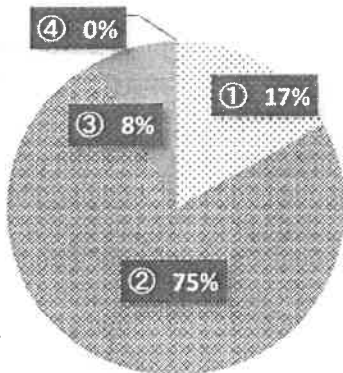
- ① 全て知っている
- ② 一部知っている
- ③ 全く知らない

指標理解度
— 職種別の違い —



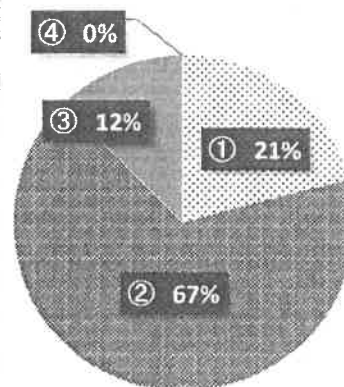
- ① きちんと理解
- ② 概ね理解
- ③ あまり理解できていない
- ④ ほとんど理解できてない

指標理解度
— 職種別の違い —



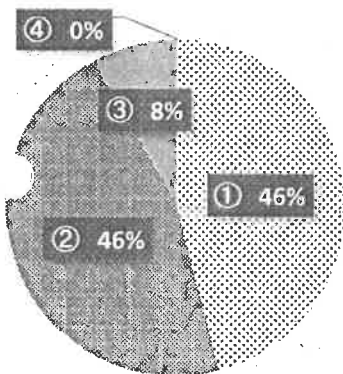
- ① きちんと理解
- ② 概ね理解
- ③ あまり理解できていない
- ④ ほとんど理解できてない

指標理解度
— 指標の観点 —



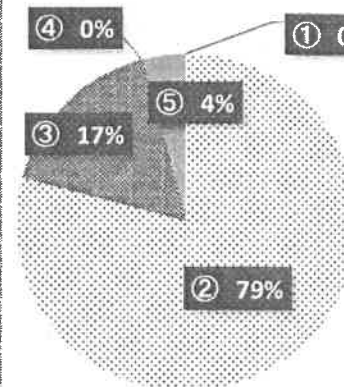
- ① きちんと理解
- ② 概ね理解
- ③ あまり理解できていない
- ④ ほとんど理解できてない

指標理解度
— 指標記号 —



- ① きちんと理解
- ② 概ね理解
- ③ あまり理解できていない
- ④ ほとんど理解できてない

教員等への周知・理解



- ① 常に意識
- ② できるだけ意識
- ③ あまり意識してない
- ④ ほとんど意識してない
- ⑤ 機会がなかった

h31. 3. 19

オンライン研修サイトの運用状況について

教職員研修課

香川県教育委員会 オンライン研修 コンテンツ一覧

eラーニング

コンテンツ数: 21 (平成 31 年 2 月末現在)

No.	内容	説明	校種	経験	職種	教科	研修	
1	特別支援教育について	特別支援を必要とする子供への指導、対応について、ほめ方のバリエーションなどを念めて、全校種で学ぶことができます。	全	若年	教諭	—	基本・職務	
2	研修のすすめ	ワークショップ型研修の特徴を簡単にまとめました。校内研修を活性化させ、教師力を高めましょう。	小中	—	—	—	—	
3	これからの道徳教育について	道徳の教科化に向け、何が変わるかを分かりやすく解説しました。道徳教育の研修の際にも使えます。	中	若年・中堅	教諭・管理職	道徳	—	
4	道徳の教科化に向けて ～重点目標を見直そう～	道徳の教科化にあたって、自校の重点を見直す。	小中	—	—	道徳	—	
5	新しく教壇に立った人へ	新たに教員になった人に最低限、知っておいてほしい内容について網羅しています。	全	若年	教諭	全	職務	
6	中学校における外国語教育の これから	新学習指導要領の改訂のポイント、小中学校における読み書き指導、授業改善の方向性について解説しています。	中	—	教諭	外国語	—	
7	CAN-DOリストの作成と活用 (若年対象)	言語を用いて「～する」ことができるという能力記述分の形で学習到達目標を設定することにより4技能を有機的に結び付け、総合的に育成する指導につなげる。	中	若年	教諭	外国語	—	
8	授業力向上に向けて ～若年教員のための授業力分析～	授業力の向上に向けての自己課題を見つけるために具体的な評価項目で自分の実践を振り返る。	小中	若年	教諭	全	—	
9	高等学校における道徳教育	高等学校における道徳教育の在り方を短時間で学習できます。	高	若年	教諭	道徳	基本	
10	ICTを活用した授業づくり 未来の学び in かがわ	ICTを活用した授業づくりを推進するために調査研究や共同研究を進めています。その成果の一部を公開していますので、教材研究や校内研修等で活用ください。	小中	全	—	算数 技術 総合	基本 専門	
11	管理職のための 学校組織マネジメントの基礎・基本	管理職にとって知っておきたい学校組織マネジメントの基礎・基本を、マネジメントの機能・必要性・実践のポイントの3つの観点で整理しています。	全	—	管理職	—	職務	
12	これからの小学校外国語教育 について	これから小学校外国語教育が変わります。どう変わるのか、何を指導したらよいか、新学習指導要領を基にお伝えします。	小	全	教諭	外国語	—	
12月更新	13	はじめての著作権	著作権の基本的な内容と学校で著作物を利用する際の注意点をまとめています。各校における教育活動の充実に向けた著作物の適正な利用を実現するために活用ください。	全	全	全	全	基本
14	教師の言動22選	学校生活の様々な場面での子どもへの関わり方や声掛けの仕方について考えてもらう教材です。	全	全	全	全	—	
15	学校におけるLGBT等の 子どもたちへの対応について	学校におけるLGBT等の子どもへの対応について学習できます。	全	全	全	—	—	
16	きちんと学ぼう！ 教職員の労働安全衛生	教職員の労働安全衛生について、知っておきたい法律の基本的事項をまとめました。児童生徒だけでなく、教職員自身の健康と安全を守る意識を高めましょう。	全	全	全	—	基本	
17	学校における 労働安全衛生管理の進め方	労働安全衛生の担当者（管理職及び衛生管理者・衛生推進者）向けに、法令に基づく基本的なルールや学校における取組の進め方について解説しています。	全	中堅 熟練	教諭・ 管理職 教諭・ 管理職	—	職務	
11月UP	18	これからの小学校の 理科教育について	小学校学習指導要領理科の改訂のポイントと今回の改訂で変更された内容について解説します。	小	全	教諭	理科	—
12月UP	19	読書活動の推進のために	新学習指導要領を踏まえた学習活動の在り方をまとめ、子供を読書活動に導く取組を紹介しています。	小中特	全	教諭	全	—
1月UP	20	教育相談のいろは	教育相談に関する基本的事項をまとめました。また、実際の対応に生かすことができるよう、6つの事例を用意し、その対応の考え方についても紹介しています。	全	若年 中堅	教諭 管理職 教諭・ 管理職	全	—
2月UP	21	小学校学習指導要領 国語科の 改訂のポイントについての確認問題	この確認問題は、NTS独立行政法人教員支援機構の「小学校学習指導要領 国語科の改訂のポイント・新学習指導要領 No.17」を模範後に、復習のために活用ください。	小	全	教諭	国語	—

No.	内容		説明	校種	経験	職種	教科	研修
1	新しく教員になったみなさんへ		新任教員にとって特に大切だと考えられる基本的な内容を9つの視点によりまとめた研修資料です。	全	若年	教諭 教諭 教諭	全	—
2	小学校外国語玉手箱		小学校外国語教育研究推進モデル地域事業において実践した学習指導案等を公開しています。Classroom Englishも紹介していますのでご活用ください。	小中	—	教諭	外国語	—
3	アクティブ・ラーニングのススメ		香川県教育センター協力学校の実践事例を基に、「主体的・対話的で深い学び」(特に、「深い学び」)を實現する指導方法等の在り方や、カリキュラムマネジメントの取組について紹介しています。	全	若年 中堅	教諭	全	—
4	外部 サイト	香小中研学校事務部会 学校事務指導票	いろいろな書類の記載例や過去の通知文を掲載しています。県内の先生方が見たいものをすぐ表示できるようにしておりますので、ぜひご利用ください。	小中	全	全	—	—
5	共同 資料	かがわ道徳ラボQ&A	道徳の教科化に伴う香川大学と県教委との連携事業として実施した研修会「かがわ道徳ラボ」で質疑応答があった20のQ&Aをまとめています。	小中	全	全	道徳	—
6	達人が伝授！ すぐに役立つ学級経営のコツ		すぐに使える学級経営のコツを中心に掲載しています。各事例ごとに香川県内の熟練教員が「達人からのアドバイス」として執筆しています。	小中高	若年	教諭	—	基本
7	オンライン教師塾		「教育は人なり」一子どもの教育に携わる者としての心構えや姿勢を学び、自らの人格を高めるためのお役立ち読み物教材です。	全	若年 中堅	教諭 教諭 教諭	—	—
8	熱中症を予防しよう 一知って防ごう熱中症		熱中症予防の原則、熱中症対応フロー等を分かりやすく、見やすくまとめました。児童生徒等の大切な命を守るため、本資料を広くご活用ください。	全	全	全	全	基本
9	外部 資料	文部科学省 新学習指導要領について	新学習指導要領について、改訂のスケジュールやポイント、各校種別の学習指導要領と解説、比較対照表を掲載しています。	全	全	教諭	全	—
10	教職員のためのサポートブック		教職員の皆さんの共同意識を高め、暗かて種々な頭脳づくりを通して、日々の教育実践における不安や悩みをサポートします。	全	全	全	全	—
11	外部 サイト	千葉県総合教育センター 特別支援学級担当者の 専門性向上パッケージ	特別支援学級の担任が、日々の実践にすぐに生かすことができます。学級経営や授業づくり、教材教具など、5つのコンテンツにまとめられています。	全	全	教諭	—	—
12	ネットトラブルに関する 学校現場での対応事例集		学校現場において実際に起きた事例とその対応方法のほか、校内研修等で参考となる資料を掲載しています。	全	全	全	—	基本
13	ハラスメントのない 快適な職場づくり		職員一人一人がハラスメントについての知識と理解を深められるように、まとめました。心身に健康を維持できる快適な職場づくりに努めましょう。	全	全	全	—	—
14	香川県教職員の 職場復帰支援の手引き		精神疾患により休業をしている教職員の円滑な職場復帰に関し、休業開始時から復帰後までの適切な支援のあり方や、事務手続きの流れなどについてまとめています。	全	全	全	—	—
11月 UP	15	先輩教員からのメッセージ		全	全	全	—	—
11月 UP	16	外部 資料	文部科学省 新教育課程説明会資料	小中高	全	教諭 管理職	全	—
12月 UP	17	みんなですすめる人権・同和教育 (人権・同和教育教職員ハンドブック)		全	全	全	—	—
12月 UP	18	外部 資料	大学入試センター 大学入学共通テスト 試行調査	高	全	教諭	国、数 理、英 地、公	—
1月 UP	19	外部 サイト	国土交通省国土地理院 地理院地図	全	全	教諭	社、地 歴	—
1月 UP	20	外部 サイト	国土交通省 ハザードマップポータルサイト	全	全	全	全	—
1月 UP	21	外部 サイト	内閣府地方創生推進室 RESAS(地域経済分析システム)	全	全	全	全	—
1月 UP	22	外部 サイト	各関係省庁等 領土に関する指導資料集	全	全	教諭	社、地 歴	—
2月 UP	23	わいせつ・セクハラ事例集		全	全	全	—	—
2月 UP	24	外部 サイト	国立教育政策研究所 授業アイディア例	小中	全	教諭 管理職	国、数 理	—
2月 UP	25	外部 サイト	国立教育政策研究所 特別活動指導資料	小中高	全	全	—	—

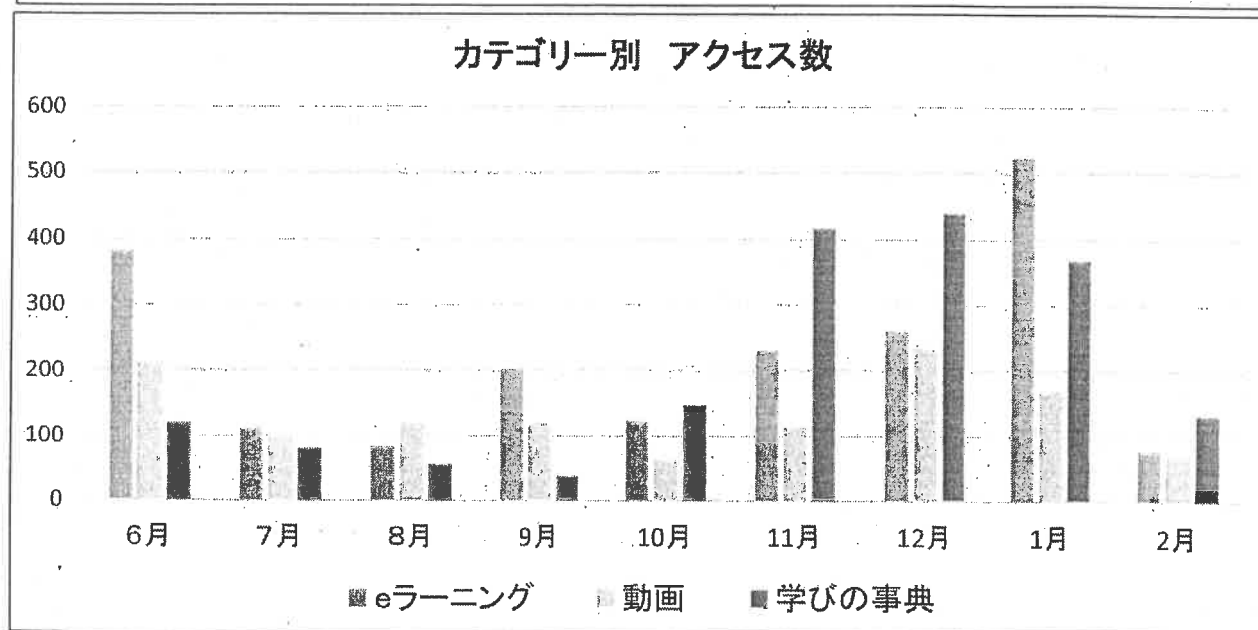
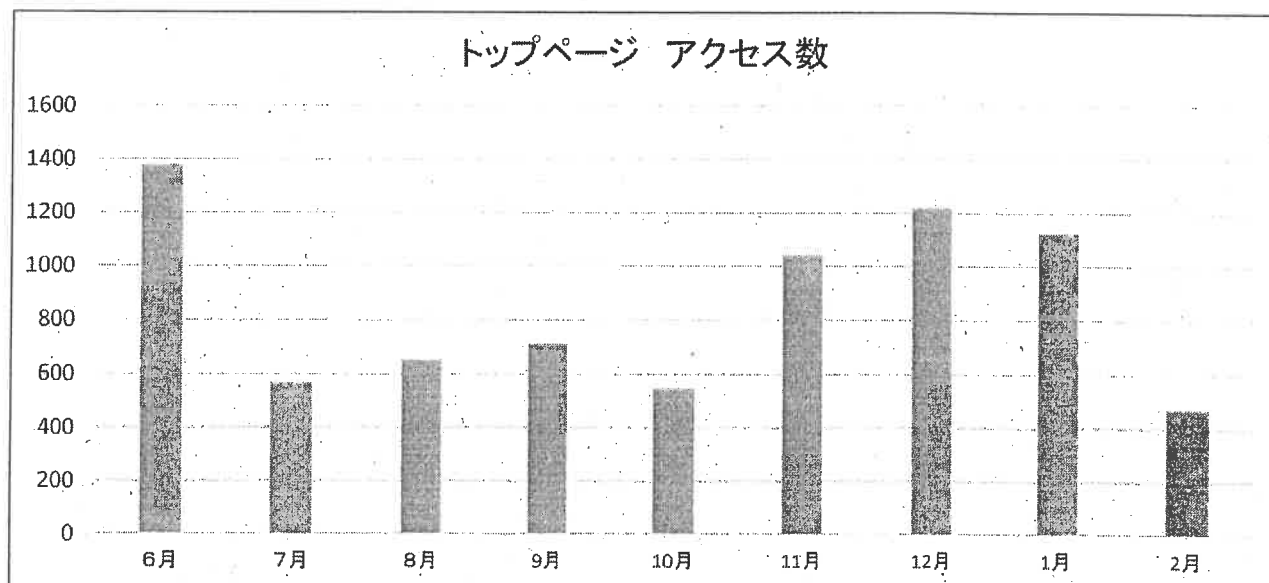
動 画

「動画」コンテンツ数: 11 (平成31年2月末現在)

No.	内容	説明	校種	経 験	職 種	教科	研修
1	新聞紙話―「くまの親子」―	新聞紙を折りながら形を変え、そこに子供たちの反応を取り入れて展開する短いお話です。子供の反応を取り上げる授業技術のトレーニングにも最適です。	小	若年 中堅	教諭	国語	—
2	音読の3つの技一詩「ミツバチ」―	オノマトペのみのシンプルな詩を使って「スピード」、「間」、「強弱」の3つの音読の技を明らかにしていきます。音読の技を使うことによって想像が広がっていく様子が分かります。	小	若年 中堅	教諭	国語	—
2月 更新	3 外部 サイト ~+≡ 教職員支援機構 研修教材	教職員支援機構では、全国の学校教育関係職員に豊富で質の高い研修機会を提供するため、校外、校内、自己研修を問わず、いつでもどこにいても研修が可能となるよう、講義動画などの研修教材を提供しています。	全	全	全	—	—
4	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて ―小学校3年生・理科を例にして―	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の一例を、小学校3年生・理科の模擬授業を通して紹介します。	小	若年 中堅	教諭	理科	—
5	外部 サイト 国立特別支援教育総合研究所 NISEchannel	障害のある児童生徒等の教育にあたる教職員の資質向上を図ることができます。一つの講義は15分から30分程度で視聴でき、校内研修等で活用可能です。	全	全	全	—	—
6	小学校 算数科の授業づくり ―教材研究のポイント―	算数科の授業づくりの際は学習指導要領解説の内容を踏まえるとともに、教科書教材の意図を十分理解しておくことが大切です。教材の配列や使われている数値・図などについて、もう一度じっくり考えてみませんか。	小	若年 中堅	教諭	算数	—
7	先輩教員からのメッセージ	退職された先生に、現在の様子や、教員生活で得たことや役に立っていることなどをインタビューしています。	全	全	全	—	—
8	外部 サイト 日本スポーツ振興センター 学校でのスポーツ事故を防ぐために	部活動や体育、水泳活動中に発生している事故の解説や予防方法、対応方法を紹介しています。教職員の研修や、中学生、高校生の授業でも活用できる内容です。	全	全	教諭 養護教諭 管理職	保体	—
12月 UP	9 走り方のコツは、こうして教える！ ～速く走るための動きづくり～	速く走るための大切なポイントとなる「速い動き」、「大きい動き」、「力強い動き」を身に付けるための練習方法を分かりやすく解説しています。子供たちに「走り方」を指導するときの参考にしてください。	全	全	—	保体	—
1月 UP	10 外部 サイト 外務省 動画 日本の領土をめぐる情勢	学習指導要領の改訂に伴う、領土に関する教育の充実のための参考教材です。竹島と尖閣諸島に関する4つの動画が視聴できます。	全	全	教諭	全	—
1月 UP	11 外部 サイト 北方領土問題対策協会動画ギャラリー 動画で知ろう北方領土	学習指導要領の改訂に伴う、領土に関する教育の充実のための参考教材です。様々な動画を通して、北方領土問題の概要を、あらゆる角度から知ることができます。	全	全	教諭	全	—

平成30年度 オンライン研修サイトコンテンツ アクセス数の推移 (2月末現在)

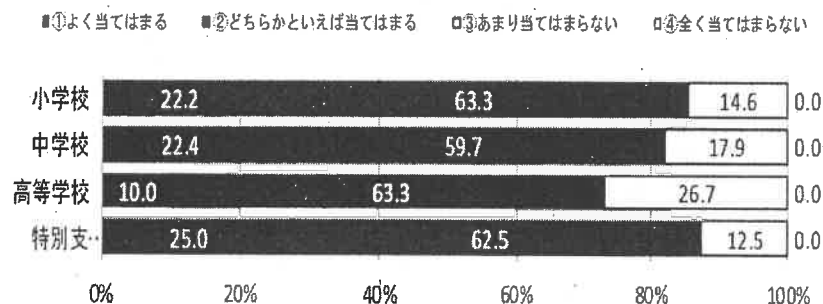
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
トップページ	1379	566	652	710	546	1039	1219	1121	470		7702
eラーニング	382	111	83	202	123	231	260	524	78		1994
オンライン研修とは?	270	11	5	6	4	4	10	9	4		323
動画	209	99	119	118	63	114	233	169	68		1192
学びの事典	120	81	57	38	146	416	439	368	132		1797
コンテンツ一覧	24	95	97	202	141	431	352	40	182		1564
教えてください	18	13	4	10	10	7	5	10	11		88



オンライン研修に関する各種アンケート結果

1 H30 年度学校支援に関するアンケート結果

教育センターが発信しているオンライン研修について、関心がある

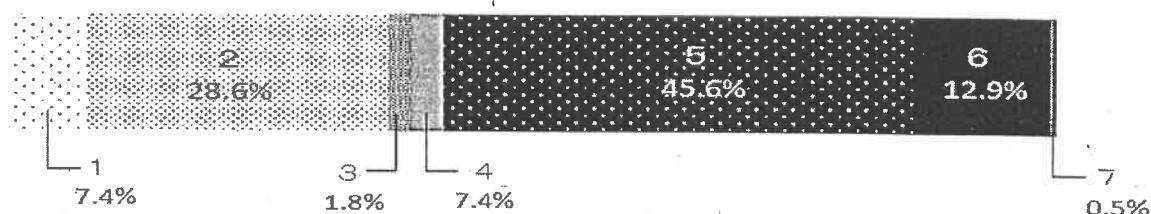


	①よく当てはまる	②どちらかといえば当てはまる	③あまり当てはまらない	④全く当てはまらない
小学校	22.2	63.3	14.6	0.0
中学校	22.4	59.7	17.9	0.0
高等学校	10.0	63.3	26.7	0.0
特別支援学校	25.0	62.5	12.5	0.0

2 H30 年度初任研・中堅教員を対象とした研修受講者アンケート結果

I サイトへのアクセスに関する質問

- 1 アクセスし、研修教材を活用したことがある
- ※ 2 アクセスしたことはあるが、コンテンツの確認のみ
- 3 アクセスしたが、利用環境が悪く活用できなかった
- 4 アクセスしようとしたが、ID・パスワードが分からず断念した
- 5 サイト開設は知っていたが、アクセスしたことはない
- 6 サイト開設されたことを知らなかった
- 7 その他



II 今後のサイト活用に関する質問

- 1 有効な教材があれば活用したい
- ※ 2 時間が確保できれば活用したい
- 3 必要が生じる場合は活用したい
- 4 あまり積極的に活用しようとは思わない
- 5 活用するつもりはない
- 6 その他

